

青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

FAX：03-3875-6270 か seinen@irouren.or.jp まで

3・10～11、青年春闘行動、集会やりました —雨の中、We will We will Rock You ♪—

青年協ニュースの発行が滞っていて、大変申し訳ありません。青年協のブログ
(<http://irouren.cocolog-nifty.com/seinen/>)では、随時、詳細な情報を更新していますので、
そちらの方もぜひ、ご参照ください。

さて、3月10日は、日本医労連や全労連の中央行動でした。たった2日前には、4月下旬の
陽気だったのが、一転して冷たい雨と風の日になり、昨年の大雪ではないものの、一日外での行
動は厳しいものでした。日本医労連の独自行動もありましたが、青年や女性は、全労連青年部・
女性部の行動に結集しました。

午前10時から国会議員前での「座り込み行動」は、医労連青年協の旗の下には、青年委員は
じめ、いくつかの県から青年が集まってきてくれました。医労連の要請目標60名にはほど遠く、
青年の行動には20名程度だったかと思いますが、もっと事前のアピールと親組合への要請が必要
ではなかったか、と反省しています。

昼の日比谷野音での「青年・女性・パート
中央集会」では約2500人が参加。韓国の
非正規労働センターのキム・ジュファンさん
が連帯のあいさつを行い、大阪パート連絡会
の「河内音頭」や女性部のコント、ヘルパー
ネットや全労連の小川薫青年部長が、パフォー
マンスを繰り広げました。

さて集会後は、女性・パートは国会デモへ、
青年は銀座パレードへと繰り出しました。

パレードのかけ声は、また昨年とも違うも
のに…。クイーンの「We will Rock You！」のサビの部分でアピール！しました。

We will we will rock you ♪ rock you ♪

ドンドンパッ！ ドンドンパッ！ ドンドンパッ！ ドンドンパッ！

って感じのリズムに乗せて…、手に持った2つのバルーンスティック叩きながら…



青年の 雇用を 増やせ 増やせ！
まともな 仕事を よこせ よこせ！
職場の 人員 ふやせ ふやせ！
誰でも 1万円 上げろ 上げろ！
最低 賃金 上げろ 上げろ！
まともな 生活 させろ させろ！
サービス 残業 なくせ なくせ！
はたらく ルールを まもれ まもれ！
偽装 請け負い なくせ なくせ！
賃金 差別を やめろ やめろ！
パワハラ セクハラ やめろ やめろ！
憲法 9条(平和を) まもれ まもれ！
家族と 夕食 食べさせろ 食べさせろ！



こんなアピールをみんなで唱和して歩きました。

なお一番最後のフレーズは、当日に、北海道・油石くんの「率直な願い」ということで採用したものです。アピールは、銀座を歩く人たちや東京駅でバス待ちしている人たちに、結構注目されていました。（終わってからの打ち上げでは、日航ホテル前で、「**おすぎに会った！**」、という話が、一番盛り上がりましたが…（＾＾；））

そして最後は、「経団連前アピール行動」。女性・パートも集まって、600人が参加しました。「奥田会長への手紙」では、青年代表として、北海道労連の野村さんが、「**ぼくたちはサイチン以下の生活しています。どんなに頑張ってもトヨタの車を買えませ～ん。トヨタの中古車ショッブでも買えませ～ん！ 経団連会長の力でなんとかしてください～い！**」と訴えていました。

シュプレに代わる青年のアピールとしては、まずまずだったかとは思いますが、要はみんなで知恵を出し合って、みんなが共感できるやり方で、やることに意義があるんじゃないかと思います。全国あちこちで、青年のオリジナルなアピール行動が起こしていけたらと思います。

私たちから**発信**するといくみを！ — 様々な産業の青年たちと学び、交流 —

3月11日は、様々な労働組合青年部が集まって構成している「労働組合青年部意見交流懇談会(略称:労組懇)」が主催する「06青年春闘集会」が東京大崎の南部労政会館で行われました。

第1部は、メディア研究者の桂敬一さん(立正大学教授)に、「メディアは私たちの期待に応えているだろうか」というテーマで話していただきました。桂さんは、昨年9・11総選挙において、「小泉劇場」の宣伝に興じたマスコミの役割と責任についてふれ、権力に同調したり、権力に絡め取られる「大新聞・TVメディア」に惑わされず、ブログや投書など含め、市民や労働組合からの発信を強くしていくことが大事と話されました。後半は、くじでランダムに振り分けられたグループでトーク。日常、感じているメディアへの疑問や各地の活動について交流しました。

第2部は、近くのイタリアンで夕食交流会。60名が参加し、グループ対抗「伝言ゲーム」、「連想ゲーム」を行い、上位5チームに、フィギアなど「アキバグッズ」がプレゼントされました。

全国各地の取り組みをお知らせください